

総合基礎科目	協働的医療実践の基礎					
看護学科	選択	1単位	演習	平成30年度	前期	3年次
臨床検査学科	選択					
科目名	相互扶助論Ⅱ（援助・支援関係形成演習） Mutual Aid II (Practice for Cooperative Activities)					
担当教員	◎都築英明 稲本俊 金井恵理 曾山奉教 奥村和夫 山本佳世子					
目的	相互扶助論Ⅰを受講した3回生が地域の相互扶助活動に参加し、社会・組織の構成員同士が互いに助け合うことを学ぶ。集団活動におけるメンバーシップ、社会的活動を組織し調整する能力を高める。					
目標	1. 相互扶助の歴史と概念を述べることができる。 2. これまで習得した知識や経験を生かして、他者の気づきや学びを促し、支援することができる。 3. 社会の中の相互扶助のしくみや活動に参画し、相互扶助のあり方、メンバーシップのあり方について考察できる。					
他科目との関連	人間関係とコミュニケーション、相互扶助論Ⅰ 他					
評価方法	項目	評価の内容				評価の比率
	筆記試験	指定されたレポートの評価				
評価基準	総合評価で一定基準以上を合とし、未満は否とする。					
教科書	指定なし					
参考資料	ピョートル・クロポトキン「新版 相互扶助論」同時代社 エドガー・H・シャイン「人を助けるとはどういうことか 本当の「協力関係」をつくる7つの原則」英治出版					
備考 (受講上注意、事前学習等)	自ら学外研修の場所を探し交渉し計画を立てる。相互扶助論Ⅰ以上に積極的な対応、自律が求められる。					